

別紙様式 1

平成26年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	徳島県立牟岐少年自然の家	施設所在地	海部郡牟岐町大字灘字東谷 1 1 6 - 3 5
指定管理者名	岡田企画株式会社	指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日
施設所管課	生涯学習政策課	【連絡先】	088-621-3147

1 施設の概要

設置年月日	昭和60年7月1日
設置目的	少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じて、その健全な育成を図る。
施設内容	管理棟、宿泊棟、プレイホール、海の学習室、プール棟 等
利用料金等	基本料金：無料(教育課程)、100円(その他)、 宿泊室：100円(教育課程)、440円(その他)
開館日・休館日等	休所日：8月13日～15日、12月29日～12月31日、1月1日～1月3日

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	(1) 牟岐少年自然の家の設置及び管理に関する条例第3条各号に掲げる事業の実施に関する業務 (2) 少年自然の家の施設等の維持管理に関する業務 (3) 少年自然の家の利用の許可に関する業務 (4) 少年自然の家の利用料金に関する業務 (5) その他少年自然の家の管理に関し、教育委員会が必要と認める業務
------------	---

3 施設の管理体制

	正職員 10 名	臨時職員 14 名	計 24 名
管理体制	運営統括責任者 (正職員①)	所 長 (正職員①)	総務部② (正職員②) 事業部⑤ (正職員⑤) 施設部⑥ (正職員① 臨時職員⑤) 給食部⑨ (臨時職員⑨)

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	26年度	1,279	3,626	4,087	5,215	2,956	3,077	4,052	1,251	654	738	596	1,145	28,676
	前年度	2,107	4,011	3,959	5,241	3,733	4,637	2,546	657	801	525	545	1,547	30,309
	前々年度	1,652	3,121	3,771	4,818	5,584	3,365	4,263	3,096	767	553	673	1,270	32,933

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	26年度	260	266	305	696	747	217	304	169	14	98	52	174	3,302
	前年度	546	321	185	483	1007	321	180	5	55	57	64	255	3,479
	前々年度	376	608	156	474	1245	418	157	253	9	29	40	146	3,911

施設毎 利用料金収入 (千円)							計
	26年度						
	前年度						
	前々年度						

5 収支の状況

(単位：千円)

項 目		平成26年度	平成25年度（前年度）	平成24年度（前々年度）
収 入	指定管理料	74,177	71,660	71,660
	利用料金収入	3,302	3,479	3,911
	事業収入	35,579	38,752	39,481
	その他			
	計	113,058	113,891	115,052
支 出	固定費（人件費・光熱水費等）	56,292	59,025	59,835
	運営費	35,753	37,330	37,192
	維持管理費	20,549	17,651	17,979
	その他			
	計	112,594	114,006	115,006
収支		464	▲ 115	46

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	①仕事のマルチ化、外部委託業務の仕様内容の見直しによるコストの削減 ②修繕履歴等の情報のシステム化による設備機器の故障時の迅速な対応・長寿命化 ③職員による施設設備の修繕・修理の実施 ④職員による敷地内の植栽管理業務の実施 ⑤省エネルギー・省資源の節約による光熱費の削減 （平成24年7月より使用電力監視システムを導入） ⑥コピー・印刷用紙の節約による事務費の削減 ⑦地産地消運動の推進による新鮮で低コストの食材の調達
サービス向上の取組	①年間を通じた多彩な主催事業（土・日等の休日実施）の開催 ②1団体での同時多種目活動の実施と活動時間の融通化 ③トレーニング機器を地元住民にも開放し、健康目的に合ったプログラムの開発と提供 ④生活習慣病予防改善講習など各種健康講座の開催 ⑤食堂にて健康メニューの提供、地産地消運動の推進 ⑥接客マナーの向上や活動の安全性を高める職員研修の実施 ⑦外国人利用者のための英語表記の標示物の整備 ⑧HPのブログによる活動内容の報告、四季折々の風景、出来事等雑感の掲載 ⑨新たに防災学習プログラムを追加

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	○9の主催事業を24日間実施した。 （事業名） ・春ランラン♪・海家族バンザイ！・めっちゃ！夏遊び・THE・ビーチショウ ・親子ふれあいエコ体験・ときめき釣りロマン・親子DE冬スポ・わんぱく冒険王他 ○親子が共に自然に親しむことによる子育て支援事業や漁協・渡船組合等の関係諸機関と連携した事業を実施し、自然の家が持つ機能を十分活用した主催事業が実施された。 ○毎年リピーターが増加している。その結果、主催事業の募集開始直後から予約が集中し、短期間で定員を超えた申込が多い。そのため、複数回数実施した主催事業もあった。 ○天候により活動内容の変更を余儀なくされても、室内プログラムによる満足度の高い活動が実施されている。
----------	---

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・ 毎回、利用者アンケートを実施し、ニーズの分析・把握に努めている。 ・ 要望への回答は、施設の掲示板やHPで内容を公開している。 ・ 職員が県内各地の関係諸機関を訪問し、利用の依頼を行っている。 ・ 県内外へスポーツ合宿等への利用をPRし、利用促進を図っている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	S	・ 計画書に基づいて多彩な主催事業が展開できている。 ・ 希望の多い主催事業は、実施回数を増やすことにより、すべての希望者が参加できるようにしている。 ・ 内容もアイデアいっぱい、リピーターに対しても、新鮮な活動が計画され、常に参加者から高評価を得ている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・ 年間作業計画に基づいた法定点検が的確に実施されている。 ・ 修繕履歴等の情報をシステム化により、故障時の迅速な対応を行うことにより、機器の長寿命化に努力をしている。 ・ 老朽化のため使用不能となった備品に対し、購入や廃棄等を迅速に行っている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・ 利用者数が前年度実績を下回り、それと共に利用料金収入も減少している。 ・ 外部委託業務の仕様見直し等による費用削減ができた。 ・ 使用電力監視システムやこまめな節水対策等により、光熱水費の削減に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・ 管理運営業務計画書に基づく業務が厳格に行われている。 ・ 法で定める有資格者以外に、より質の高い業務遂行が可能な各種有資格者や免許所有者を有している。 ・ 経理については、現金は所長が直接チェックし、銀行振り込みは銀行の担当者とチェックしている。 ・ きめ細かなセルフモニタリングが実施され、毎月、丁寧な報告ができています。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	・ 事業計画書に示された労働条件を満たす勤務ができています。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	・ 職員採用は積極的に地元から雇用し、約8割が地元雇用である。 ・ 業務委託は最優先に地元企業に委託している。 ・ トレーニングルームを地元住民に開放している。8月と2月は無料開放を行っている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	S	・ 独自に持ち上げた第三者運営協議会を年2回開催し、地元の関係者から施設の運営に関して率直な意見をいただき、改善につなげている。 ・ 地元団体等と連携した自主事業の開催や清掃活動等のボランティア活動への参加を積極的に行っている。 ・ 牟岐町主催による津波避難訓練や防災学習キャンプに積極的に協力している。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	S	・ 安全性の確保や職員の資質向上を目指した研修、防火・防災等の避難訓練を計画的に実施している。 ・ 「避難所等施設利用に関する協定」を県教委、牟岐町、牟岐町自主防災連絡協議会、指定管理者の4者で締結している。 ・ 防災のまちづくり支援のため、「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」の認証を受けている職員を3名配置している。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	・自然環境に配慮した洗剤の使用や節水節電など環境への負荷を軽減する取り組みが行われている。 ・用紙の両面印刷による紙の廃棄物の減量や分別ボックスの設置による廃棄物のリサイクルの推進を行っている。 ・太陽パネルの設置により、活動プログラムに環境学習を取り入れている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・関係法令の遵守意識が全職員に定着している。 ・独自の情報公開規定を整備している。
総合評価	A	・民間企業の経営方針を活用することにより、コスト削減・サービス向上が積極的に行われている。 ・豊かな知識と経験を有した職員を配置し、海の活動をふまえた優れた教育効果の望める事業が実施され、また、利用者からの職員等のサービスについての評価も高い。 ・安全・危機管理体制も確かで、大規模災害時における避難所開設の対応もできている。

〈評価指標〉 S : 協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A : 概ね協定書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B : 協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C : 管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

〈現状〉
○Tokushima英語村の宿泊会場等として、グローバル人材育成のための施設活用が図られた。
○県が次のような施設の改修を行い、利便性が向上した。
・県産杉無垢材を使ったユニバーサルサイズの二段式ベッドの入替 ・トイレの洋式化 ・シャワー室の設置
・宿泊室カーペットの張替や量の表替等
〈課題〉
○少子化による教育課程における児童生徒の宿泊学習参加者数の減少や8月10月の台風によるキャンセルや主催事業の中止により、利用者数が減少した。
〈対応〉
○施設改修を契機に、県内外へのPRを一層強化し、青少年をはじめとする自然体験活動での利用の他、スポーツ合宿やグローバル人材育成のための合宿等、幅広い利用の促進を図る。
・地元(海部郡)との連携を一層強化し、牟岐リフレッシュ特区による県外利用者の拡大を図る。
・避難所体験プログラムを実施することにより、学校や一般利用者の拡大を図る。
・県外利用者拡大のために、「とくしま旅行券」利用可能施設として登録する。
・冬期の利用促進等に向け、地元の自然や人、食材等を生かす新たなプログラムの実施を検討する。